令和6年度　まちづくりトーク　主な意見

開催日：10月8日（火）
会　場：青河コミュニティセンター
参加者数：16人

参加者の発言	市の発言	備考
人口が減っているのに、市議会の議員定数を、なぜ22人にしたのか。人数を減らし、議員報酬を上げてはどうか。	議会で特別委員会をつくられて、最終的に22人になった。今後、議会報告会が実施されるので、その場で直接伝えられたらどうか。	
西酒屋町船所地域の竹やぶを切った後どうするのか。	西酒屋町船所地域については、河川整備を行う計画である。米丸地域も、大きな計画を予定している。国土交通省と協議を重ね、治水対策や貯水地について検討している。令和2年に国道54号も冠水し、20時間くらい通行止めになったが、それについても、国土交通省の河川部局や道路部局と協議している。国土交通大臣にも直接地域の現状を伝えている。引き続き、国や県と連携し防災・減災の取組をしていく。	
青河地区でも鳥獣被害が出ている。安芸高田市のジビエの加工場について報道があったが、三次市ではどうか。地域住民も参画できるように循環できるシステムを作ってほしい。	シカやイノシシの捕獲頭数は年々増加しているが、農業被害額の減少にはつながっていないと認識している。ジビエは、安芸高田市や美郷町でも活用している。参考にしながら、循環できるような体制を検討していく。広島県ではジビエを輸出できないか模索中である。ただ衛生面などから厳しいハードルがある。被害の軽減に向け、地域一体の取組とし、猟友会や地域の皆さん、また県の「tegos」と一緒になって、鳥獣被害対策に、引き続き、取り組んでいきたい。	
独身が多い。佐賀県武雄市では、縁結びをしている担当部署の「お結び課」がある。毎月出会いの場をつくり、3割の成婚率がある。市に旗を振っていただき、住民自治組織連合会も関わり、そして、人とのつながりや人口交流ができる仕組みをつくってほしい。	現在、若者はマッチングアプリを活用している方が多いと聞く。三次市内では、結婚コーディネーターが、出会いの場所を提供されている。いろいろなメニューを準備しておくことが大切だと感じており、他市町の事例を参考にして、縁やつながりをつくっていく。	
みよし運動公園にあるスケートボード場の利用状況について聞きたい。利用条件もあり、利用しにくいという声がある。	運動公園の入り口のスケートボード場は、一時的に水をためる機能を有しており、雨水期には使えない。雨水期以外の利用方法として，アーバンスポーツのスペースになっている。ヘルメット着用など安全面に配慮する条件がある。利用するにあたっての弊害などを利用者や管理者の皆さんと協議をしながら、安全に利用できるように検討していく。	
IターンとUターンの支援額に大きな差がある。どちらが大切なのか。Iターンは東京23区からの移住に限り支援金があるのはなぜか。Uターンの補助金を増やしてはどうか。今後、Uターン助成金が増額になる可能性はあるのか。過疎債を助成金に活用することはできないのか。 ・Uターン補助金について、年度決算であり、年度内に完了しない場合は、対象とならないのか。	・UターンとＩターンの補助金について、どちらも大事な補助金である。東京23区からの移住支援金は、国の制度であり、県や市町も参画している。過疎債は、ハード事業に活用する財源であり、Uターン助成金などのソフト事業には使えない。有効な制度になるように検討していく。 ・移住支援金は、東京一極集中を是正して、地方移住を促進するものである。国の制度に、県や市が参画している。引き続き、関係省庁と意見交換しながら、地方の現状を伝えていく。 ・Uターン補助金は繰り越し事業になっていないため、年度内に完了させる必要がある。助成金に関する具体的な案件について相談をしてほしい。	
・住宅リフォーム支援事業について、前は20万円であったが、今は10万円に半減した。過疎債は使えないか。増額を検討してほしい。 ・今は予算を全額使っていないのではないか。	・住宅リフォーム支援事業について、限られた予算の中で、1件でも多くの方にご利用いただき、また少しでも多くの市内事業者を利用していただきたい。過疎債対象の事業ではないため利用できない。 ・助成金事業の近年3年間分の実績状況については、予算1，000万に対し、令和3年度は1，231万円交付、令和4年度は876万円交付、令和5年度は954万7，000円交付している。	
県道青河江田川之内町線アンダーパスは、無くした方がいいのではないか。大雨時に冠水し、通れなくなる。	JRの線路を新しく作ることは難しい。大雨時に冠水しないように、ポンプを設置している。	
カーボンニュートラルの取組や、三次市公式のメルカリショップスについて教えてほしい。市民はどうすればいいのか。今の状況を教えてほしい。	例えば学校で使わなくなった楽器や机などを、今までは廃棄していた。メルカリを利用することで、全世界で即座に購入され、価値あるものとして利用してもらえる。また、ヤクルト山陽が、ヤクルトを販売される際に不用品を回収し、メルカリショップスで販売されており，あわせて市の不用品も販売していただき売り上げが市に入ってくるような仕組みもある。	
市道酒河81号線（えんこう渕）市道や常会が分断されている。山が削られ通行止めになっている。通学路にもなっているが、大回りしている状況である。何年も言っているが、予算がついていないと聞いた。事業前に説明をしてほしかった。	今年度も過疎債が付かず工事ができていない。来年度においては、過疎債が付けば実施できるが、未定である。引き続き、事業が前に進むよう、県へ申請をしていく。	
青河地区では、綺麗な川、蛍が飛び交う街とし、川を綺麗にする運動をしている。小似川上流にごみが捨てられ、もう10年以上経つ。この不法投棄物については、土地所有者の追跡もできず、量も多く、地域で解決できる問題ではない。市で対応してほしい。以前、他の案件でクリーンセンターで処分していただいたことがある。	後日、回答させていただく。	【住民自治組織へ回答】 県及び警察と合同パトロールを行い、現地の確認と対応を検討しました。不法投棄物については、クリーンセンターへ持ち込んでいただくと処理できるが、中には産業廃棄物もあり、市では処理できないものもあります。所有者へその旨を伝え、土地所有者に片付けと不法投棄対策を行っていただくように話をしました。